

東淀川区区政会議 教育・子育て部会 議事概要

※枠内は委員意見、枠外は区役所職員

日時・場所 平成 29 年 9 月 13 日(水)午後 7 時から午後 9 時

東淀川区役所 3 階 301・302 会議室

出席者 教育・子育て部会委員 12 名、他部会委員 2 名

議題 1 東淀川区将来ビジョン～2022 年に向けて～（案）について

○統計のページには、生の数字と比率としての順位があるということか。

- ・東淀川区は人口が多いため、いいことも悪いことも目立つ順位になりがちだが、人口比で比べるとずば抜けて高い順位ではない。そういうことも見えるよう、人口比での順位も併記した。

議題 2 平成 30 年度運営方針（原案）について

「全ての子どもが『生きる力』を身につける『子育て』・『共育』のまち」班

- 2つの戦略テーマが重複・関連する部分がある。うまく関連をつけられたらいい。
- 話してきた内容が具体的に運営方針に文章表現されていないので表現してほしい。
- 「現状・課題」の表現がわかりにくい。もっと客観的な表現や取組内容とつなげる表現に。
- 子育てに活かせる情報発信がうまく伝わっていない。きっちり取り組んでいく必要がある。
- 地域の子ども関連事業にもっと予算を使ってほしいという意見反映は難しいがアピールが必要。
- 赤ちゃんティーチャーやトップアスリート、夏休み学習会など具体的な取組を記載してほしい。
- 各事業は学校と調整することが必要。区政会議の部会で学校とのすり合わせができないか。

- ・記載については整理していく。実施事業を踏まえ、発展形の事業の実施に向けた検討を進める。
- ・学校側サイドの実務を知る人と意見交換ができればいいが、学校とのすり合わせは難しい。
- ・まだ原案の段階なので具体的な事業が書けない。次の段階でブラッシュアップしていく。

「子どもとおとなが互いに元気になれるまち」班

- 関係機関との連携というような抽象的な表現ではなく、トップアスリート（経済戦略局事業の活用など）や赤ちゃんティーチャー（ゲストティーチャーで赤ちゃんとのふれあいの企画）、夏休み学習会（各地域で実施）など、既に今ある取組みでも活用し継続して進むのであれば、事業名の表現を運営方針に入れてはどうか。
- 広く子育て事業の運営が地域に開かれて多くの世代の人が子育てに関われるようにしては。
- 意見交換会など、各地域の事例やアイデアを出し合うような場、ネットワークをつくれる開かれた運営ができればいい。
- 集会所や会館は高齢者の施設というイメージがあるため入りにくい部分もある。もっと開かれてPTAなど若い世代に使ってもらうように意識的にしていけるといい。
- 地域の事業について、企画段階に子どもやPTAに入ってもらうとその人たちが来るようなイベントになるのでは。若い層に入ってもらえれば地域と顔つなぎができるきっかけになる。

- ・企画段階で子どもや若い保護者に入ってもらうことやお互いの地域での情報交換ができるようなことは進めていきたい。
- ・まだ原案の段階。具体的な事業名については、課題等のところにこういう施策をしていくという表現をしていきたい。

(次期区政会議への引継ぎについて)

○私たちの任期は9月で終わる。この原案が案になったときは次の委員メンバーで話し合うことになるが、私たちが長時間をかけて考えた内容を何らかの形で次期委員に伝えるよう事務局にお願いしたい。具体的な表現は事務局判断になるが、運営方針への文言での反映も含めて。

・原案段階で固有名詞は難しいが、意見いただいた趣旨で検討するという表現をさせていただく。